2011 年 7 月 29 日

各　位

会 社 名　　日本たばこ産業株式会社
代 表 者 名　代表取締役社長　木村　宏
（コード番号 2914
東証・大証・名証 第一部、福証・札証）
問合せ先　　ＩＲ広報部（TEL 03-3582-3111（代表））

（訂正）「2012 年 3 月期　第 1 四半期決算説明会資料」一部訂正について

2011 年 7 月 28 日 15 時に公表いたしました「2012 年 3 月期　第 1 四半期決算説明会資料」の 16 ページ、スライド 32 番「<Back up data No.2> Composition Ratio by 4 cluster」に誤りがありました。下記のとおり、訂正いたします。

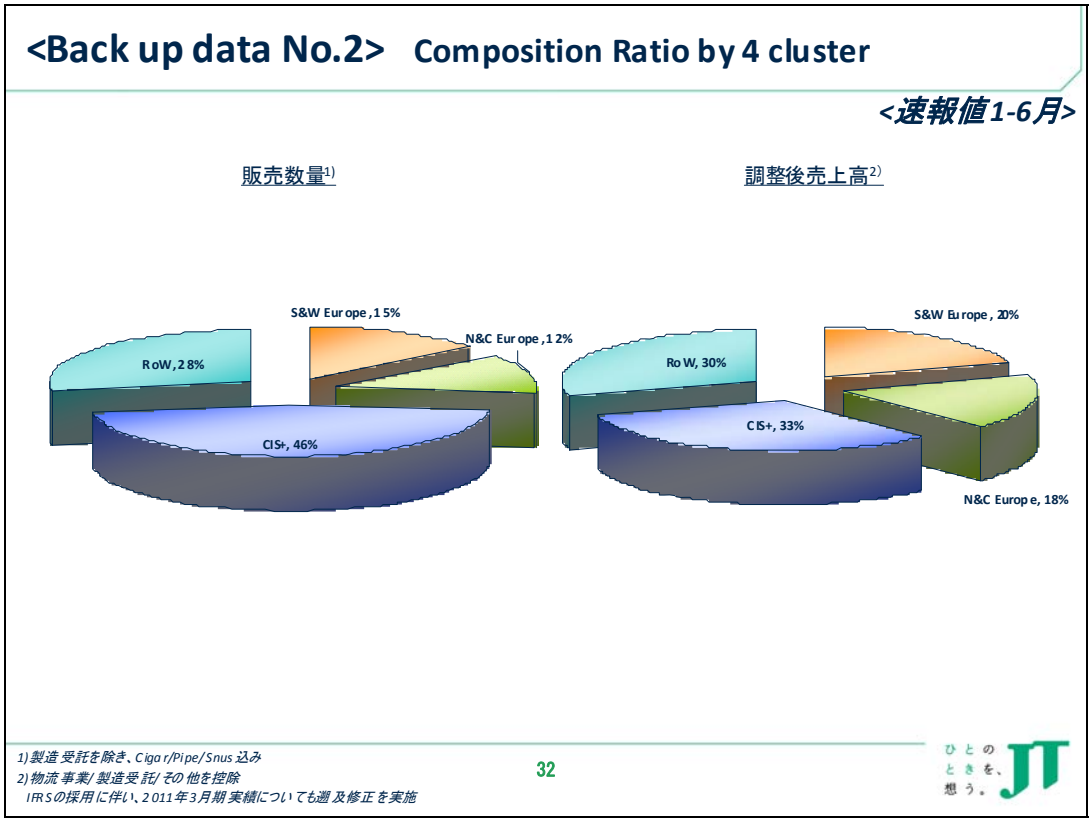
記

訂正内容：販売数量構成比の比率

訂正前：S&W Europe, 14%、N&C Europe, 12%、CIS+, 44%、RoW, 30%

訂正後：S&W Europe, 15%、N&C Europe, 12%、CIS+, 46%、RoW, 28%

訂正後のスライド



本訂正を反映した「2012 年 3 月期　第 1 四半期決算説明会資料」を以下に添付いたします。

以上

2012年3月期
第1四半期　決算説明会資料

※本資料に含まれる数値は各事業の業績を分かりやすく説明するために使用しており、
　財務諸表の数値と異なる場合があります。
※詳しくは各スライドの脚注をご覧下さい。

ひとの
ときを、
想う。

当資料取扱上の注意点

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

（1）喫煙に関する健康上の懸念の増大
（2）たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
（3）国内外の訴訟の動向
（4）国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
（5）国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
（6）市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
（7）買収やビジネスの多角化に伴う影響
（8）国内外の経済状況
（9）為替変動及び原材料費の変動

2012年3月期 第1四半期実績

財務責任者
宮崎 秀樹

ひとの
ときを、
想う。

全社業績 : Executive Summary

- 調整後売上高、EBITDAは減収減益
- 国内たばこ事業は、増税/定価改定影響に加え、東日本大震災影響による数量減により、減収減益
- 海外たばこ事業はトップライン成長が好調な業績を牽引
  - ドルベースEBITDAは10.3%、為替中立では16.7%成長
  - 為替中立ベースでの2桁成長に向け、順調なスタート
- 医薬事業は増収、開発進展に伴う研究開発費の増加により減益
- 食品事業は減収、収益力強化及びコスト削減により増益。

＊従前の調整後税抜売上高は調整後売上高に名称変更

全社業績：2012年3月期 第1四半期　実績

（単位：億円）	2010年 4-6月期[2)]	2011年 4-6月期	増減
調整後売上高[1)]	4,715	4,096	**-13.1%**
EBITDA	1,330	1,218	**-8.4%**
営業利益	795	719	**-9.5%**
経常利益	709	680	**-4.1%**
四半期純利益	221	227	**+2.4%**

<参考：のれん償却前>	2010年 4-6月期[2)]	2011年 4-6月期	増減
営業利益	1,029	928	**-9.8%**
経常利益	943	889	**-5.8%**
四半期純利益	456	435	**-4.5%**

- **国内たばこ事業における増税/定価改定および震災影響に伴う当社販売数量の減少および海外たばこ事業における為替のマイナス影響により減収、国内たばこ事業・海外たばこ事業における単価上昇効果等が一部相殺したものの減益**
- **営業利益・経常利益は減益、四半期純利益は増益**

1)国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業等 及び海外たばこ事業における物流事業、製造受託等を控除

2)海外たばこ事業におけるIFRSの採用に伴い、2011年3月期実績についても遡及修正を実施

国内たばこ事業：2012年3月期 第1四半期　実績

（単位：億本，億円）	2010年 4-6月期	2011年 4-6月期	増減
販売数量	359	184	**-48.8%**
調整後売上高[1)]	1,461	1,003	**-31.4%**
EBITDA	583	461	**-20.9%**
営業利益	472	365	**-22.6%**

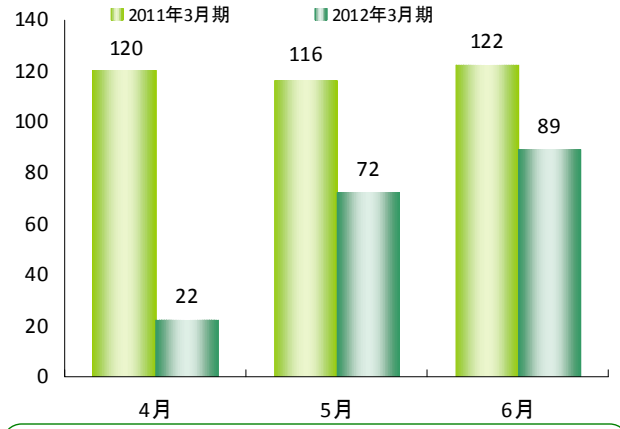
- **増税/定価改定影響、東日本大震災影響により販売数量は48.8%減少**
- **数量減影響を単価上昇効果が一部相殺したものの、調整後売上高、EBITDA、営業利益は減収減益**

1)輸入たばこ、国内免税、中国事業等を控除

国内たばこ事業：2012年3月期 第1四半期　実績

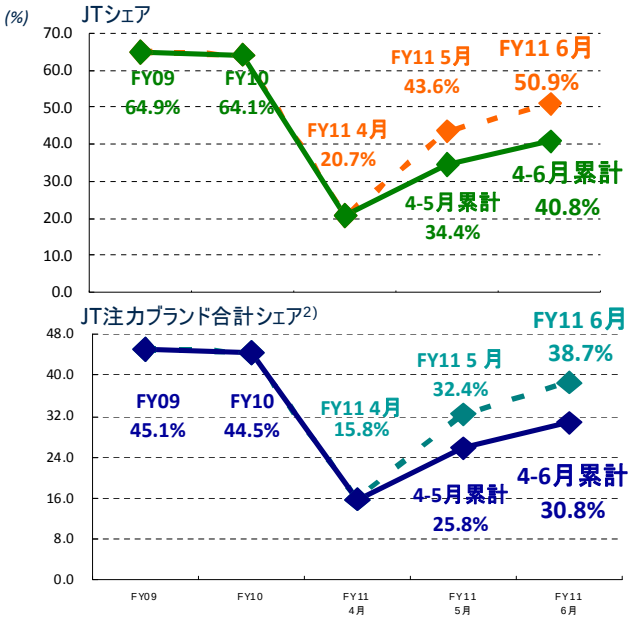
【国内たばこ事業月別販売数量[1)]】

(単位：億本)



【供給再開状況】

4月11日	4月25日	5月9日	6月6日	7月4日	7月18日
7銘柄	16銘柄	25銘柄	36銘柄	58銘柄	73銘柄



- 順次供給を再開し、当初の想定よりも前倒しで7月18日より73銘柄体制を確立
- 供給の再開とともにJTシェア、注力ブランドシェアともに順調に回復、早期にシェアを回復させるべく最大限の努力を払う所存

1)輸入たばこ、国内免税、中国事業等を控除
2)マイルドセブン、セブンスター、
ピアニッシモ(10年1月にピアニッシモに統合したアイシーン、ルーシア込みで遡及)

ひとのときを、想う。JT

海外たばこ事業：2012年3月期 第1四半期　実績

(単位：億本、百万US$)	2010年 1-3月期[4)]	2011年 1-3月期	増減
総販売数量[1)]	941	945	+0.5%
GFB販売数量	546	558	+2.1%
調整後売上高[2)]	2,343	2,447	+4.4%
調整後千本当売上高[3)](US$)	25.2	26.1	+3.9%
$ベースEBITDA	818	903	+10.3%
円ベースEBITDA(億円)	742	743	+0.2%
【為替中立ベース】			
調整後売上高[2)]	2,343	2,495	+6.5%
調整後千本当売上高[3)](US$)	25.2	26.7	+6.0%
$ベースEBITDA	818	954	+16.7%

- 単価上昇効果およびGFB伸長が好調な業績を牽引
  - 調整後売上高は4.4%、為替中立ベースで6.5%成長
  - トップライン成長に牽引され、EBITDAは10.3%成長、為替中立ベースで16.7%成長
  - 円高影響を受け、円ベースEBITDAは横ばい

1)製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み
2)物流事業、製造受託等を控除
3)製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込みの総販売数量から、
売上高に計上していないVV販売数量を控除
4)IFRSの採用に伴い、2011年3月期実績についても遡及修正を実施

ひとのときを、想う。JT

医薬事業：2012年3月期 第1四半期　実績

(単位:億円)	2010年 4-6月期	2011年 4-6月期	増減
売上高	118	119	**+1**
EBITDA	-20	-35	**- 14**
営業利益	-30	-44	**- 14**

臨床開発品目（2011年7月28日現在）

開発名	主な適応症	開発段階
JTT-705（経口）	脂質異常症	国内：Phase2
JTT-130（経口）	脂質異常症	国内：Phase2 海外：Phase2
JTK-303（経口）	HIV感染症	国内：Phase1
JTT-302（経口）	脂質異常症	海外：Phase2
JTT-305（経口）	骨粗鬆症	国内：Phase2
JTK-656（経口）	HIV感染症	海外：Phase1
JTT-751（経口）	高リン血症	国内：Phase3
JTK-853（経口）	C型肝炎	海外：Phase1
JTT-851(経口)	2型糖尿病	国内：Phase1

- 鳥居薬品の好調により増収
- 開発進展に伴う研究開発費の増により減益

ひとのときを、想う。JT

食品事業：2012年3月期 第1四半期　実績

(単位:億円)	2010年 4-6月期	2011年 4-6月期	増減
売上高	962	918	**-43**
飲料事業	468	490	**+21**
加工食品事業等	493	427	**-65**
EBITDA	40	61	**+20**
営業利益	-23	-7	**+15**

- 基幹ブランド「ルーツ」、ステープル（主食）の拡販および震災後の需要増による売上増があったものの、加工食品事業等における前年度の精白米等の卸売事業廃止や一部子会社を連結対象外とした影響等により事業全体で減収
- 飲料事業における売上が堅調に推移したこと、利益率の高いステープルへの戦力集中による収益力向上、コスト削減等より増益

ひとのときを、想う。JT

海外たばこ事業　2011年4-6月期速報値

ひとの
ときを、
想う。

海外たばこ事業 : Executive Summary 2011年4-6月期速報値

- トップライン成長が加速
  - 全てのクラスターでGFB販売数量が伸長
  - 単価上昇効果が調整後売上高成長を牽引
  - ほぼ全ての主要市場でシェアは引き続き増加

＊従前の調整後税抜売上高は調整後売上高に名称変更

海外たばこ事業：2011年 4-6月期速報値

（単位：億本、百万US$）	2011年 1-3月期	2011年 4-6月期	2011年 1-6月期
総販売数量[1]	945	1,104	2,049
	(+0.5%)	(-0.2%)	(+0.1%)
GFB販売数量	558	662	1,220
	(+2.1%)	(+4.0%)	(+3.2%)
調整後売上高[2]	2,447	2,925	5,372
	(+4.4%)	(+13.8%)	(+9.3%)
調整後千本当売上高[3](US$)	26.1	26.7	26.4
	(+3.9%)	(+14.0%)	(+9.2%)
【為替中立ベース】			
調整後売上高[2]	2,495	2,725	5,220
	(+6.5%)	(+6.0%)	(+6.2%)
調整後千本当売上高[3](US$)	26.7	24.9	25.7
	(+6.0%)	(+6.2%)	(+6.1%)

- Winston、LDに牽引され、GFB販売数量が4.0%成長
- 単価上昇効果が堅調に推移し、調整後売上高成長を牽引
- ドルベース調整後売上高は13.8%成長、為替中立ベースでも6.0%成長

1)製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み
2)物流事業、製造受託等を控除

3)製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込みの総販売数量から、売上高に計上していないVV販売数量を控除

海外たばこ事業：主要市場におけるシェア

	2010年6月[1]	2011年6月[1]	増減
Italy	19.0%	**20.3%**	+1.3ppt
France	15.5%	**16.2%**	+0.7ppt
Spain	20.7%	**20.4%**	-0.3ppt
UK	39.1%	**39.1%**	+0.0ppt
Russia	36.9%	**37.1%**	+0.2ppt
Turkey	20.6%	**23.4%**	+2.8ppt
Taiwan	37.0%	**38.5%**	+1.5ppt

出典：AC Nielsen、Logista、Altadis及びTI内部データ

- ほぼ全ての主要市場でシェアは引き続き増加

1)12ヶ月移動平均

海外たばこ事業：地域別 販売動向

<速報値 4-6月>

【対前年同期比販売数量[1]成長率】	2011 1-3月期	2011 4-6月期	2011 1-6月期
計	+0.5%	-0.2%	+0.1%
South & West Europe	-9.7%	+0.7%	-4.2%
North & Central Europe	+1.1%	-1.0%	+0.0%
CIS+	+0.7%	-3.1%	-1.5%
Rest-of-the-World	+5.3%	+5.2%	+5.3%
【対前年同期比GFB販売数量成長率】			
計	+2.1%	+4.0%	+3.2%
South & West Europe	-9.1%	+0.7%	-4.0%
North & Central Europe	+4.1%	+4.8%	+4.5%
CIS+	+7.3%	+7.8%	+7.6%
Rest-of-the-World	+3.9%	+0.5%	+2.1%

- S&WE：イタリアでのWinstonのモメンタム及びフランスでのCamelの好調が、スペインでの市場需要減少を相殺。スペインの市場縮小は依然厳しい状況にあるが、Q1と比べ緩やかとなる
- N&CE：主にポーランドでのLD好調、チェコでのB&H好調によりGFB販売数量の好調が継続するものの、UKの前年に発生した増税憶測に伴う英国での一時的な販売数量増により、総販売数量は減少
- CIS+：ロシアにおけるアップトレードの動きを捉えたWinston/LDの好調が、GFB販売数量の+7.8%もの成長を牽引。GFB成長が、ウクライナの総需要減少、ベラルーシの不安定な事業環境を十分に補えず、総販売数量はマイナス成長
- RoW：中東での成長モメンタムの継続。GFB成長は、台湾での4月値上げに伴う仮需反動によりマイナス影響を受ける

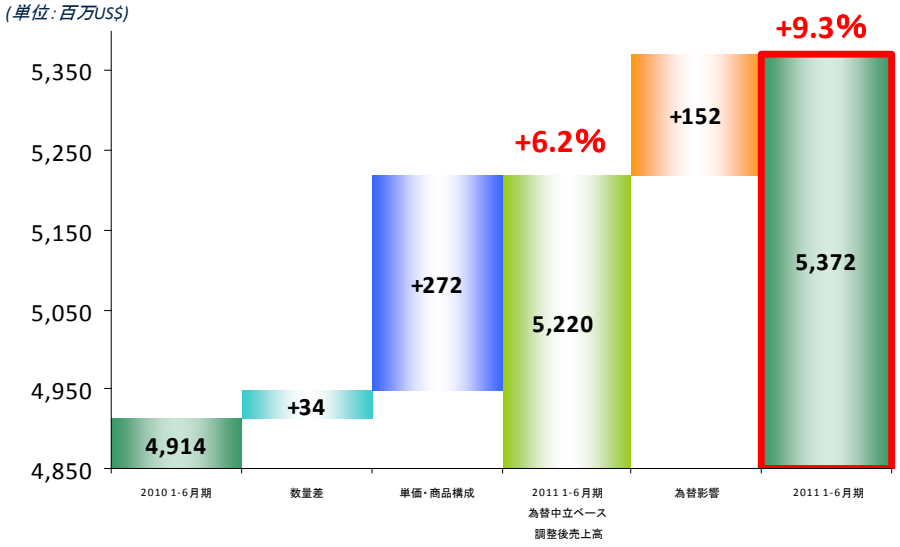
1)製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

海外たばこ事業：調整後売上高

<速報値 1-6月>

【調整後売上高[1]Roadmap: 10年1-6月期⇒ 11年 1-6月期】

(単位：百万US$)



<増税・値上情報>

	増税	値上げ
Italy	-	10年10月
France	-	10年11月
Spain	10年12月	10年12月 11年5月 11年6月(値下げ)
UK	11年1[i]、3月	10年11月、 11年1月、3月
Russia	11年1月	10年12月、 11年6月
Turkey	-	-
Taiwan	-	11年3、4月

i)VAT課税率の引上げ

- 単価/ミックス効果に加え、為替のポジティブ影響により9.3%成長
- 為替中立ベースで6.2%の成長

1)物流事業、製造受託等を控除
IFRSの採用に伴い、2011年3月期実績についても遡及修正を実施

2012年3月期 業績予想

ひとの
ときを、
想う。

全社業績予想：Executive Summary

- 2012年3月期は減収増益を見込む
- 国内たばこ事業は増税/定価改定および震災影響による数量減により、減収減益
- 海外たばこ事業は前回見込を上方修正、トップライン成長に牽引され、対前年でドルベースEBITDA17.5%成長、為替中立で11.2%成長を見込む
- 医薬事業は増収減益を見込む
- 食品事業は、基幹ブランド「ルーツ」、ステープル（主食）、調味料（酵母エキス等）への戦力集中による収益力強化、コスト削減等により増益

＊従前の調整後税抜売上高は調整後売上高に名称変更

2012年3月期　全社業績予想

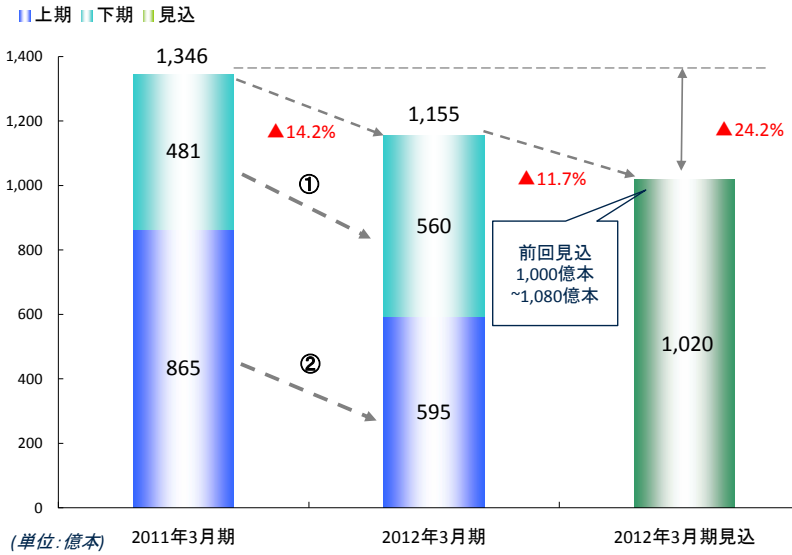
(単位：億円)	2011年3月期 実績[2] a	2012年3月期 見込 b	対実績 増減率 (b-a)/a	2012年3月期 前回見込 c
調整後売上高[1]	19,469	**19,150**	-1.6%	19,250 ~ 19,700
EBITDA	5,425	**5,500**	+1.4%	5,400 ~ 5,740
営業利益	3,332	**3,360**	+0.8%	-
経常利益	3,130	**3,240**	+3.5%	-
当期純利益	1,453	**1,610**	+10.8%	-
ROE(%)	9.2%	**10.4%**	+1.2%ppt	-
FCF	2,997	**3,000**	+0.1%	-
【のれん償却影響前】				
当期純利益	2,333	**2,460**	+5.4%	-
EPS(円)	24,378円59銭	**25,836円34銭**	+1,457円75銭	-
1株当たり配当金(円)	6,800	**8,000**	+17.6%	8,000
配当性向(%)	27.9%	**31.0%**	+3.1%ppt	-

➢ **全社業績は、国内たばこ事業における増税/定価改定・震災影響による数量減、海外たばこ事業における円高影響を受ける一方、国内・海外たばこ事業における単価上昇効果により増益を見込む**

1)国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業等 及び海外たばこ事業における物流事業、製造受託等を控除

2)海外たばこ事業におけるIFRSの採用に伴い、2011年3月期実績についても遡及修正を実施

国内たばこ事業：2012年3月期 販売数量見込



(単位：億本)

➢震災影響なしベース　通期1,155億本
①上期　595億本＝
(865億本-仮需135億本)×
増税定価改定影響▲18.5%(弾性値0.5程度)
②下期　560億本＝
(481億本+仮需反動減115億本)×
趨勢減▲7~▲6%

➢震災影響　▲135億本
主に以下を考慮して算定
出荷一時停止影響
出荷再開後のシェア影響
震災エリア影響(被災による販売不可店の売上減)

➢ **増税/定価改定影響に加え震災影響を受けるものの、通年販売数量は想定レンジ内の1,020億本を見込む**

国内たばこ事業：2012年3月期 業績予想

(単位：億本、億円)	2011年3月期 実績 a	2012年3月期 見込 b	対実績 増減率 (b-a)/a	前回見込 c		
販売数量	1,346	**1,020**	-24.2%	1,000	~	1,080
調整後売上高[1)]	6,179	**5,645**	-8.6%	5,520	~	5,980
EBITDA	2,576	**2,410**	-6.5%	2,270	~	2,610
営業利益	2,129	**1,955**	-8.2%			–



8月下旬新発売
セブンスター・カッティング・メンソール

- **販売数量見込を踏まえ、EBITDAは想定レンジ内の2,410億円を見込む**

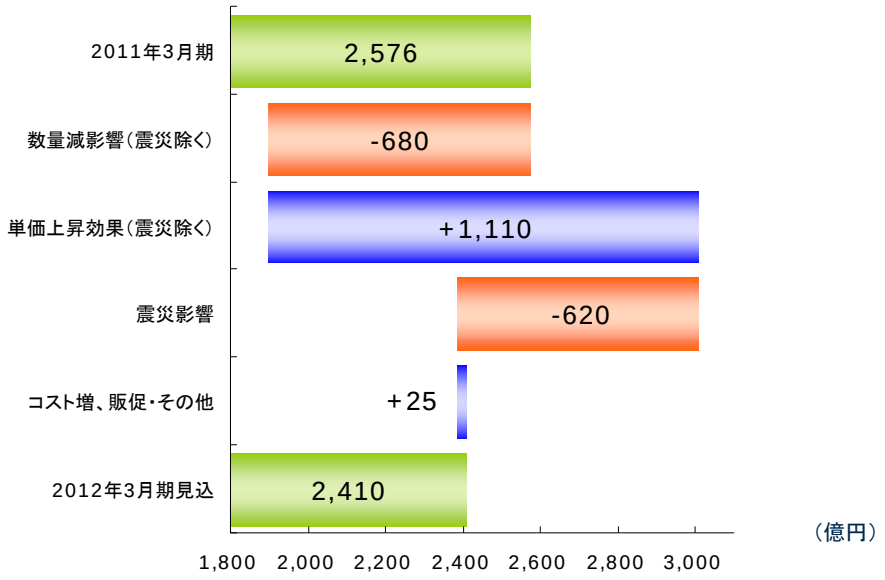
このスライドは投資家に業績を説明する目的で作成されたものです。
消費者へのたばこの販売もしくは喫煙を促す目的ではありません。

1)輸入たばこ、国内免税、中国事業等を控除

ひとのときを、想う。 JT

国内たばこ事業：2012年3月期 業績予想

【国内EBITDA　2012年3月期見込対2011年3月期実績増減内訳】



- **震災影響がなければ、単価上昇効果が数量減影響を上回る**
- **第2四半期以降は全73銘柄が出揃い、出荷量限定も解除し、当社商品の安定的な供給体制が整う**
- **早期に市場シェアを回復させるべく、最大限の営業努力を継続**

ひとのときを、想う。 JT

海外たばこ事業：2012年3月期 業績予想

（単位：億本、百万US$）	2010年 実績[3] a	2011年 前回見込 b	2011年 今回見込 c	対前回見込 増減 c-b	対実績 増減率 (c-a)/a
総販売数量[1]	4,284	4,280	**4,280**	–	-0.1%
GFB販売数量	2,498	2,570	**2,570**	–	+2.9%
調整後売上高[2]	10,113	11,430	**11,490**	+60	+13.6%
EBITDA	3,336	3,880	**3,920**	+40	+17.5%
為替中立ベース調整後売上高[2]	10,113	10,820	**10,880**	+60	+7.6%
為替中立ベースEBITDA	3,336	3,670	**3,710**	+40	+11.2%
（単位：億円）					
調整後売上高[2]	8,877	9,370	**9,190**	- 180	+3.5%
EBITDA	2,930	3,180	**3,130**	- 50	+6.8%

- スペインで顕著にみられるような、当初見込からのネガティブな変化による影響を、トップライン成長モメンタムが上回り、前回見込から上方修正、対前年で為替中立ベースEBITDAは11.2%成長
- 単価上昇効果およびGFBの伸長が成長を牽引
- 円ベース調整後売上高、EBITDAは為替前提を円高に見直したことにより下方修正

1）製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み
2）物流事業、製造受託等を控除

3)IFRSの採用に伴い、2011年3月期実績についても遡及修正を実施

海外たばこ事業：2012年3月期 業績予想

	2010年 1-12月 期中平均 実績レート a	2011年 1-12月 期中平均 見込レート b	増減率 b対a	(参考)2011年 1-6月 期中平均 実績レート c	(参考)2011年 7月22日 スポットレート d
RUB/$	30.36	28.50	+6.5%	28.65	27.80
GBP/$	0.65	0.61	+6.6%	0.62	0.63
EUR/$	0.75	0.70	+7.1%	0.72	0.70
CHF/$	1.05	0.90	+16.7%	0.92	0.82
TWD/$	31.73	28.70	+10.6%	29.18	28.81
円ドル	87.79	80.00	+9.7%	82.01	78.36

- 円ドルレート前提を80円に変更
- ドルに対し円以外の全ての通貨が同方向に1%変動するとドルベースEBITAが50MM弱変動
- 50MM弱の変動を構成する主な通貨及びおおよその内訳は、
  - RUB45%、GBP15%、EUR10%、CHF-10%、TWD10%
- 円換算時に、円がドルに対して1円変動すると、円ベースでは約40億円EBITDAが変動

医薬事業：2012年3月期 業績予想

(単位：億本、億円)	2011年3月期 実績 a	2012年3月期 前回見込 b	2012年3月期 今回見込 c	対前回見込 増減 c-b	対実績 増減 c-a
売上高	469	490	**490**	–	+20
EBITDA	-132	- 165	**-175**	- 10	- 42
営業利益	-174	- 205	**-215**	- 10	- 40

- 利益については、研究開発費の見直しにより、前回見込から下方修正
- 対前年では、鳥居薬品の好調に伴い増収を見込むものの、研究開発費の増加、前年度にあった既導出品にかかる一時金収入を今年度は見込んでいないことにより減益

ひとの ときを、想う。 JT

食品事業：2012年3月期 業績予想

(単位：億本、億円)	2011年3月期 実績 a	2012年3月期 前回見込 b	2012年3月期 今回見込 c	対前回見込 増減 c-b	対実績 増減 c-a
売上高	3,750	3,700	**3,655**	- 45	- 95
EBITDA	172	200	**200**	–	+27
営業利益	-94	–	**-80**	–	+14

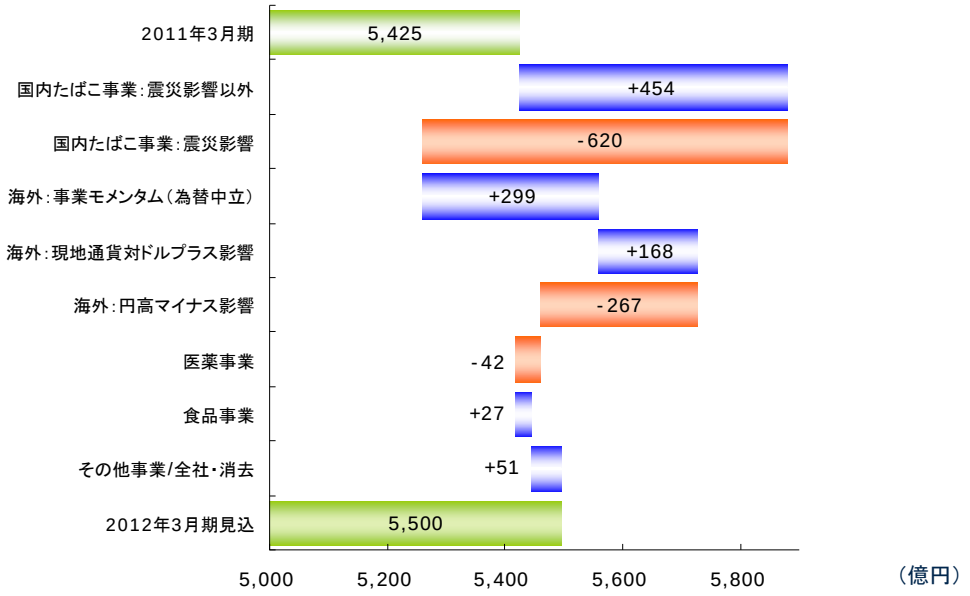


- 加工食品事業等における水産事業での被災した一部事業所閉鎖等による減収を新たに見込み、売上高を下方修正。EBITDA見込の変更なし
- 対前年では、上記に加え、飲料事業での節電影響に伴う自動販売機稼動減、加工食品事業等における前年度の一部事業廃止の影響等により減収
- EBITDAでは、基幹ブランド「ルーツ」、ステープル、調味料への戦力集中による収益力強化に加え、事業全般にわたる更なるコスト削減により、全体で増益を見込む

ひとの ときを、想う。 JT

2012年3月期 業績予想～JT-11全社目標達成に向け最大限の努力

【全社EBITDA　2012年3月期見込対2011年3月期実績増減内訳】

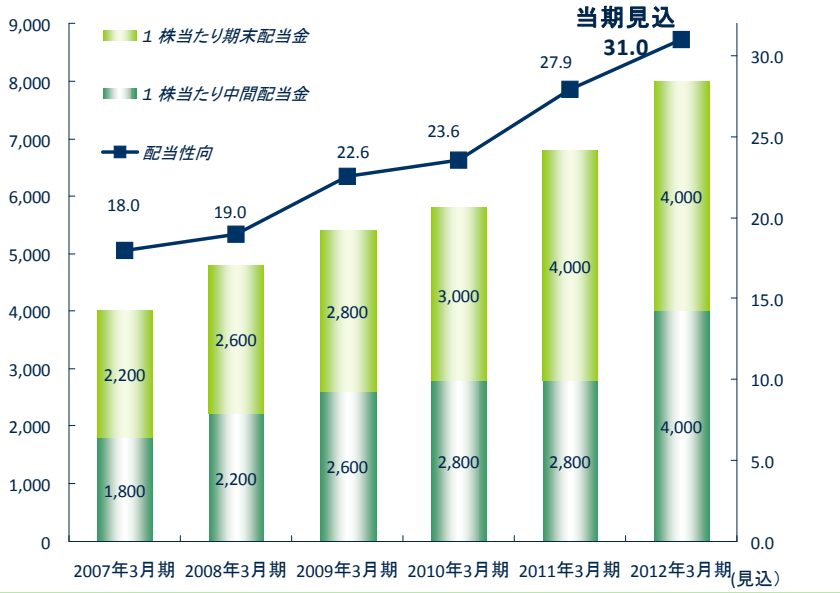


- 全社EBITDAは、事業モメンタムにより着実に成長する一方、国内たばこ事業における震災影響および海外たばこ事業の円高影響により一部相殺される見込

ひとのときを、想う。JT

株主還元

【のれん償却影響除き配当性向と1株当たり配当金の推移】



- 安定したキャッシュ・フローを事業投資、株主還元に配分するとの基本方針の下、従来の配当方針を堅持
- 「JT-11」で掲げた、中期的な目標値であるのれん償却影響を除く連結配当性向30%を11年度に達成する見込み

*海外たばこ事業におけるIFRSの採用に伴い、2011年3月期実績以降は変更後で算出

ひとのときを、想う。JT

IFRS移行に伴う財務諸表影響について（試算）

➢ 売上高・利益に関する試算

日本基準による2012年3月期業績見込について、IFRSに移行した場合の試算

（単位：億円）	日本基準	主な調整項目						IFRSによる試算
		営業外・特別損益組替	収益組替	固定資産関係	退職給付関係	のれん償却停止	調整額合計	
売上高	24,460		-4,230				-4,230	20,230
EBITDA	5,500	-370		-10	130		-250	5,250
営業利益	3,360	-370		60	130	850	670	4,030
当期純利益	1,610			40	70	850	950	2,560

＊日本基準による業績予想の表示区分を用いて掲載
＊国内たばこ事業・海外たばこ事業における調整後売上高の組替影響はありません。

ひとのときを、想う。JT

<Back up data>

All the Detailed figures comes to

<Back up data>

ひとのときを、想う。JT

<Back up data No.1> GFB Volume

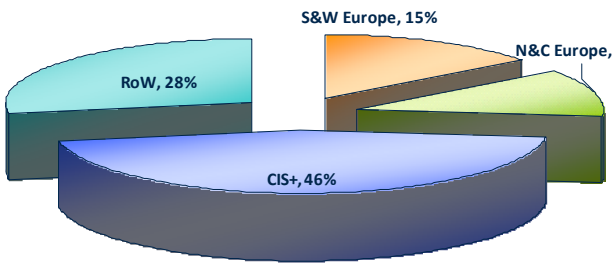
<速報値 4-6月>

(単位:億本)	2011 1-3月期	2011 4-6月期	2011 1-6月期
GFB販売数量	558 (+2.1%)	662 (+4.0%)	1,220 (+3.2%)
Winston	280 (+3.1%)	335 (+4.6%)	615 (+3.9%)
Camel	90 (−5.7%)	107 (−0.5%)	197 (−2.9%)
Mild Seven	51 (+16.4%)	47 (−3.4%)	98 (+5.9%)
B&H	25 (−1.1%)	28 (+0.6%)	52 (−0.2%)
Silk Cut	10 (−9.3%)	10 (−8.9%)	20 (−9.1%)
LD	78 (+5.5%)	105 (+13.2%)	184 (+9.8%)
Sobranie	2 (−33.5%)	3 (+57.9%)	6 (+1.8%)
Glamour	22 (−0.6%)	27 (+1.8%)	49 (+0.7%)

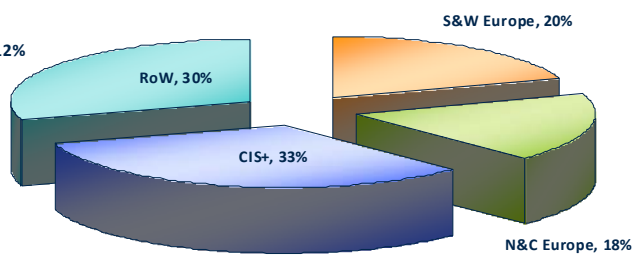
<Back up data No.2> Composition Ratio by 4 cluster

<速報値 1-6月>

販売数量[1)]



調整後売上高[2)]



1)製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み
2)物流事業/製造受託/その他を控除
IFRSの採用に伴い、2011年3月期実績についても遡及修正を実施

<Back up data No.3> 主要市場におけるシェア (3ヶ月平均)

	2010年 4-6月	2010年 7-9月	2010年 10-12月	2011年 1-3月	2011年 4-6月
Italy	19.5%	19.9%	20.3%	20.4%	**20.6%**
France	15.9%	16.0%	16.2%	16.2%	**16.2%**
Spain	21.4%	20.0%	20.8%	20.3%	**20.6%**
UK	38.9%	38.9%	39.4%	39.0%	**39.0%**
Russia	37.0%	37.1%	36.8%	37.1%	**37.2%**
Turkey	22.8%	23.5%	23.0%	23.3%	**23.9%**
Taiwan	38.2%	38.4%	38.5%	39.3%	**37.7%**

出典:AC Nielsen、Logista、Altadis及びTI内部データ

<Back up data No.4> FX rate

	2010年 1-3月 期中平均 実績レート	2011年 1-3月 期中平均 実績レート	2010年 4-6月 期中平均 実績レート	2011年 4-6月 期中平均 実績レート	2010年 1-6月 期中平均 実績レート	2011年 1-6月 期中平均 実績レート
RUB/$	29.85	29.30 (+1.9%)	30.25	28.00 (+8.0%)	30.05	28.65 (+4.9%)
GBP/$	0.62	0.63 (-1.5%)	0.66	0.61 (+8.3%)	0.64	0.62 (+3.3%)
EUR/$	0.70	0.75 (-6.0%)	0.75	0.70 (+8.5%)	0.73	0.72 (+1.0%)
CHF/$	1.04	0.96 (+8.4%)	1.08	0.87 (+24.1%)	1.06	0.92 (+15.9%)
TWD/$	32.09	29.51 (+8.7%)	31.71	28.86 (+9.9%)	31.90	29.18 (+9.3%)
円ドル	90.69	82.31 (+10.2%)	92.01	81.71 (+12.6%)	91.36	82.01 (+11.4%)

【参考資料】

2012年3月期 第1四半期実績 および 2012年3月期 業績予想 における増減要因の分析

ひとの
ときを、
想う。

当資料取扱上の注意点

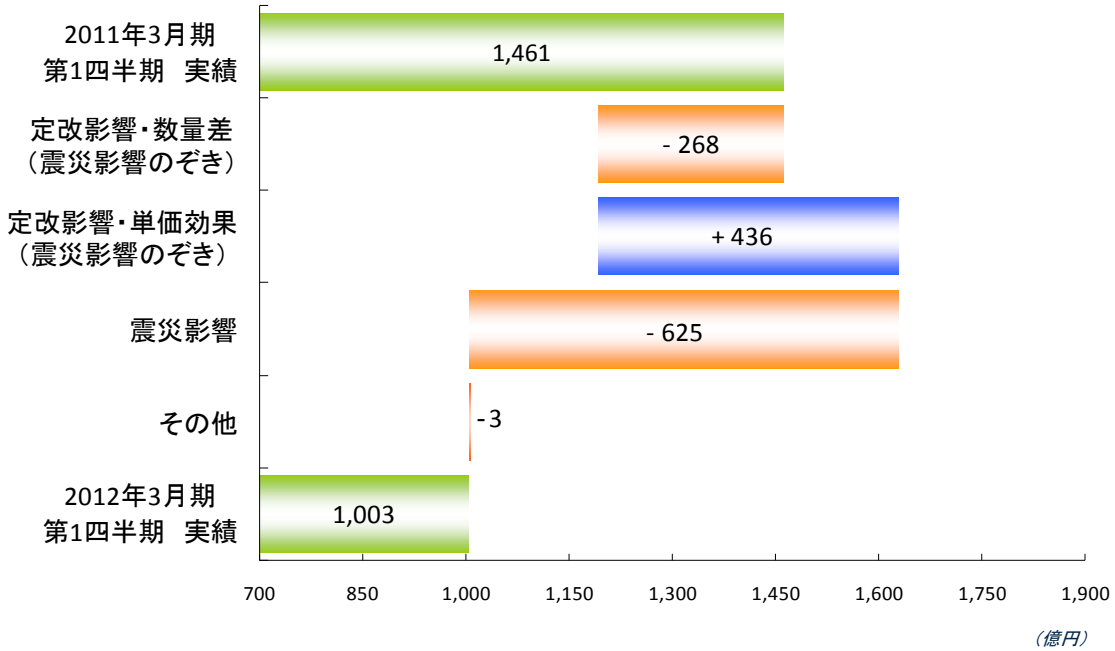
将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

（1）喫煙に関する健康上の懸念の増大
（2）たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
（3）国内外の訴訟の動向
（4）国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
（5）国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
（6）市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
（7）買収やビジネスの多角化に伴う影響
（8）国内外の経済状況
（9）為替変動及び原材料費の変動

2012年3月期 第1四半期実績

国内たばこ事業 調整後売上高[1)]

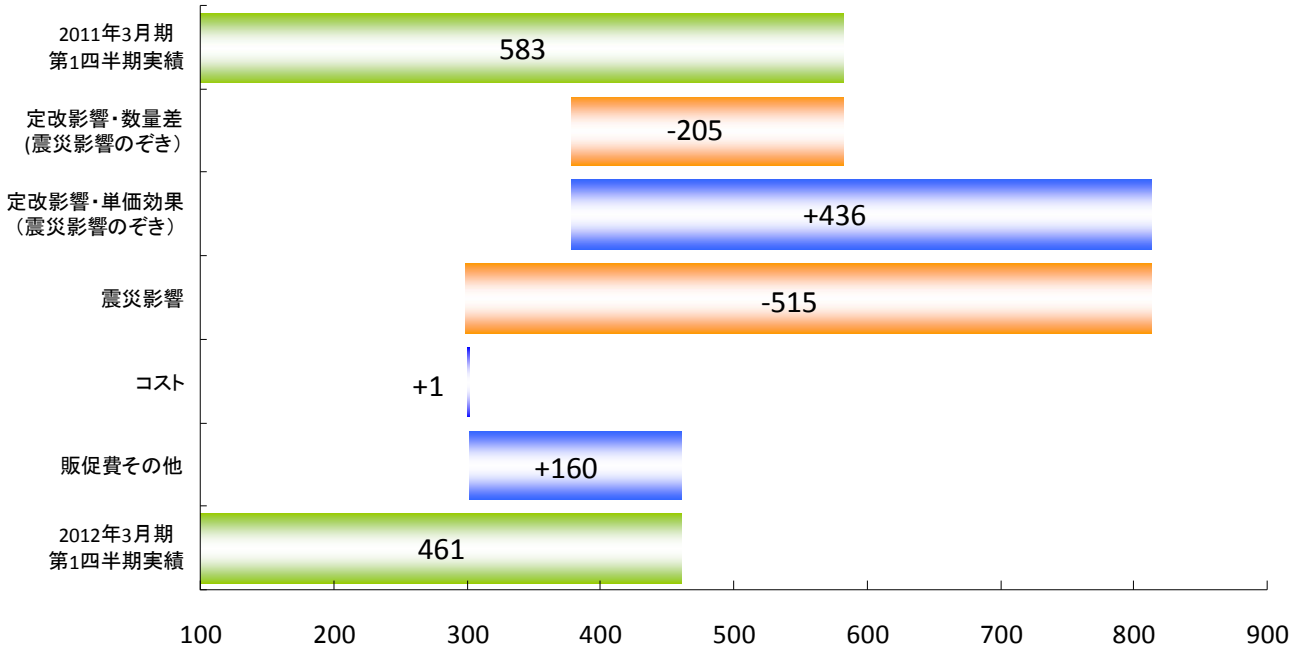


1)従前の調整後税抜売上高は調整後売上高に名称変更
輸入たばこ、国内免税、中国事業、その他を控除

ひとのときを、想う。 JT

2012年3月期 第1四半期実績

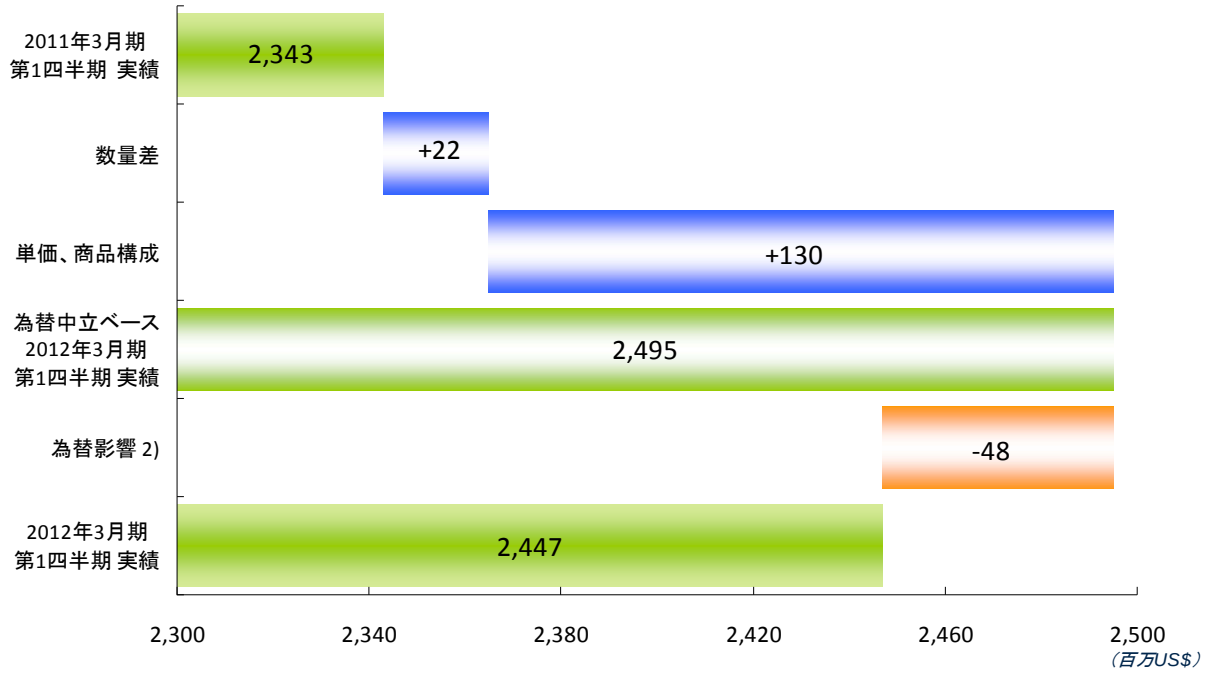
国内たばこ事業 EBITDA



ひとのときを、想う。 JT

2012年3月期 第1四半期実績

ロ 海外たばこ事業 調整後売上高[1)]



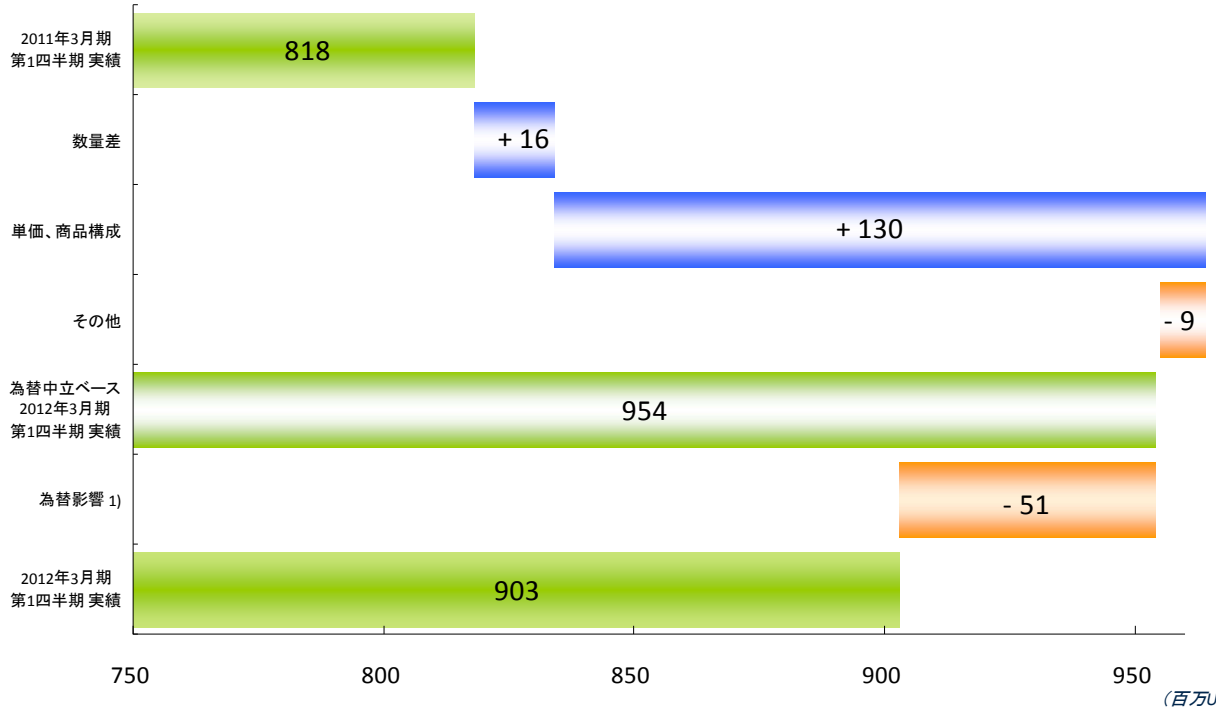
1)従前の調整後税抜売上高は調整後売上高に名称変更
物流事業、製造受託等を控除
IFRSの採用に伴い、2011年3月末実績についても遡及修正を実施

2)USドルと各現地通貨との間の為替影響

ひとのときを、想う。

2012年3月期 第1四半期実績

ロ 海外たばこ事業 EBITDA



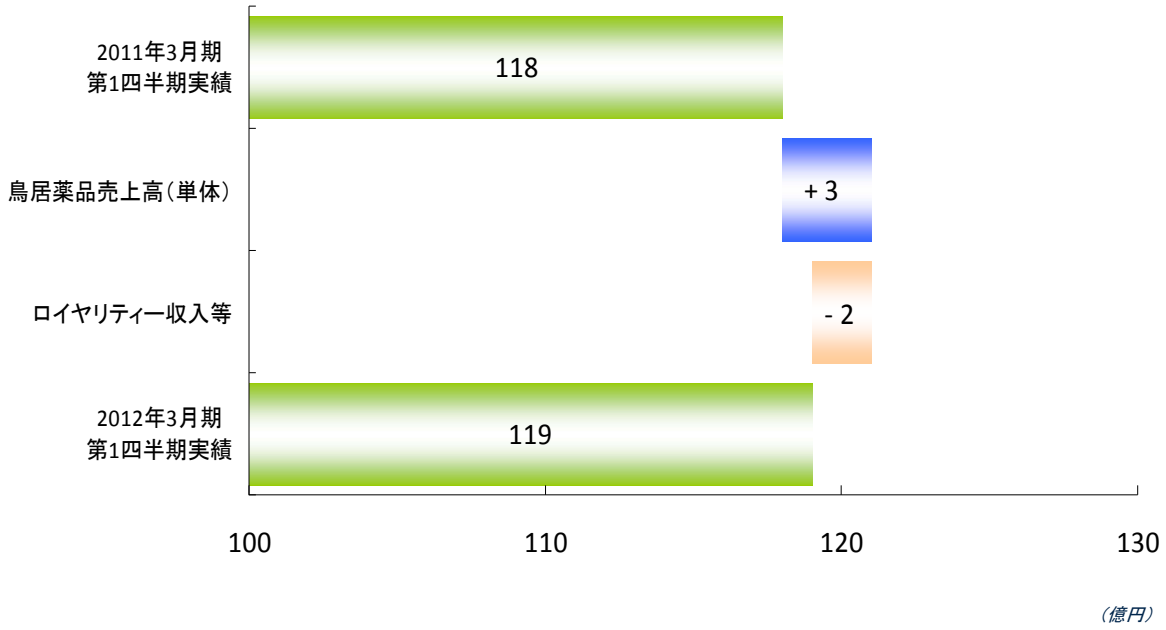
1) USドルと各現地通貨との間の為替影響

2) IFRSの採用に伴い、2011年3月末実績についても遡及修正を実施

ひとのときを、想う。

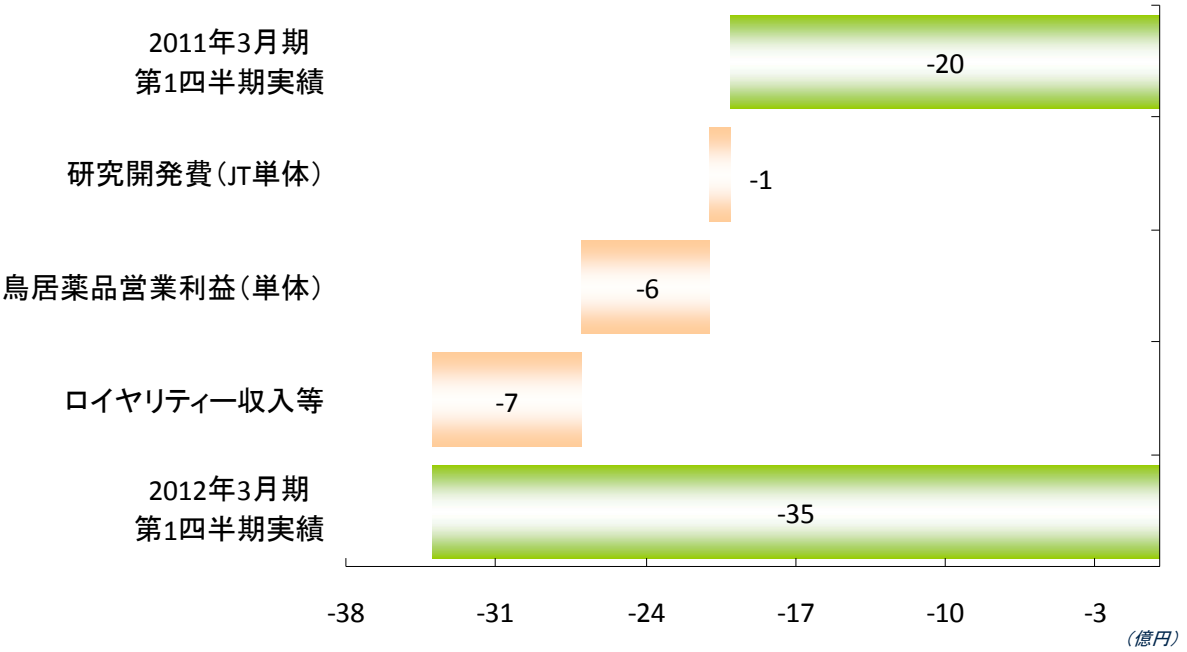
2012年3月期 第1四半期実績

医薬事業 売上高



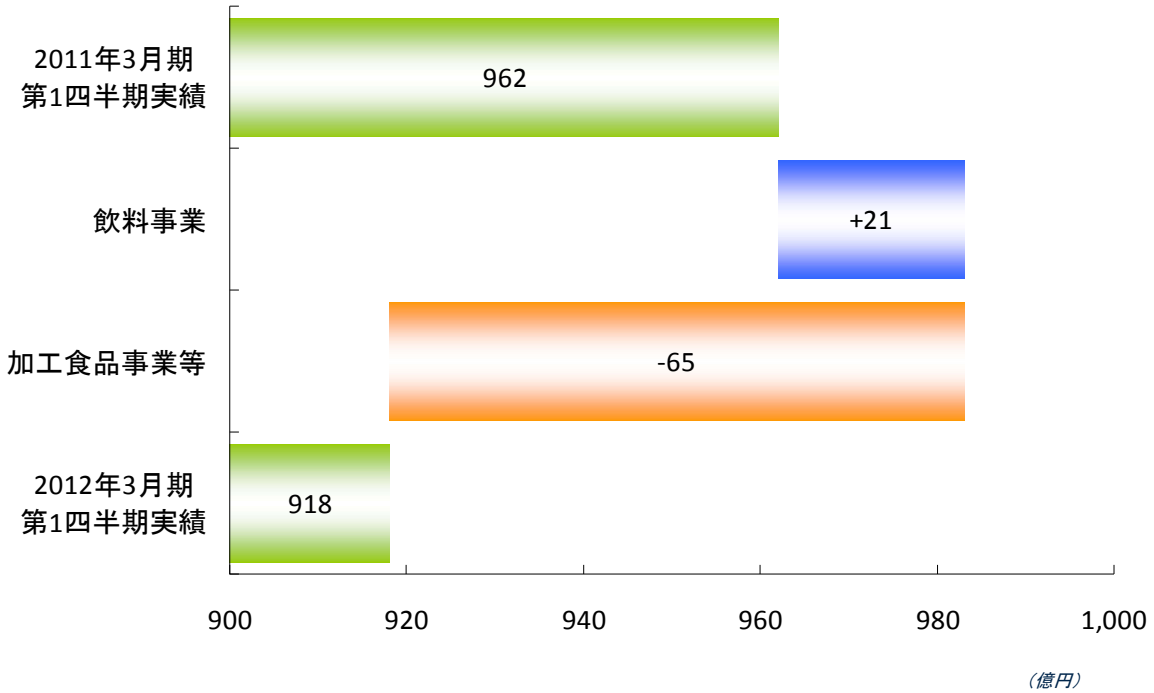
2012年3月期 第1四半期実績

医薬事業 EBITDA



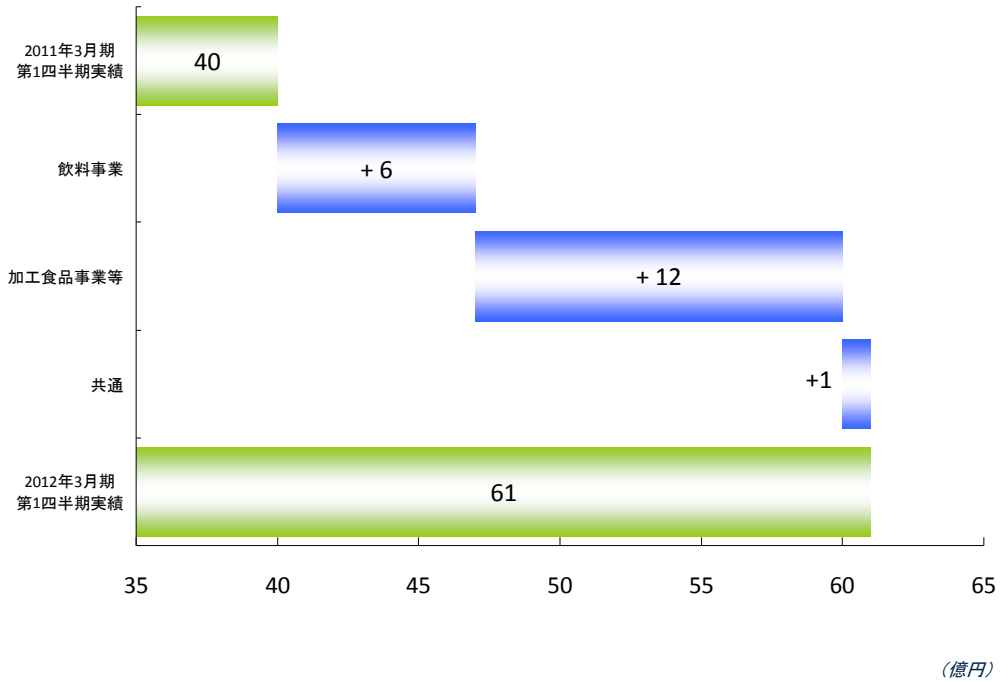
2012年3月期 第1四半期実績

□ 食品事業 売上高



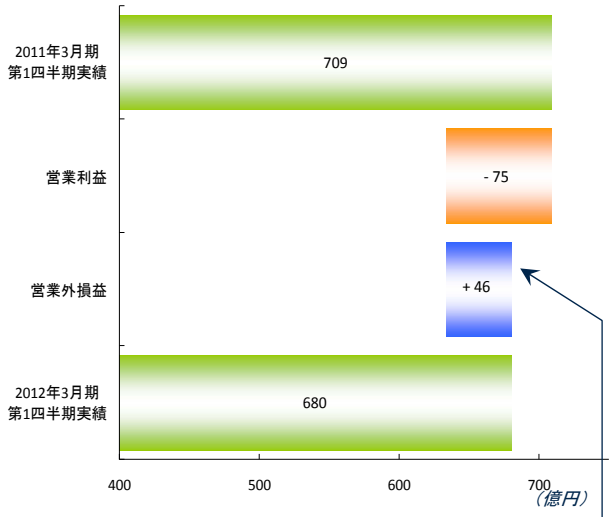
2012年3月期 第1四半期実績

□ 食品事業 EBITDA



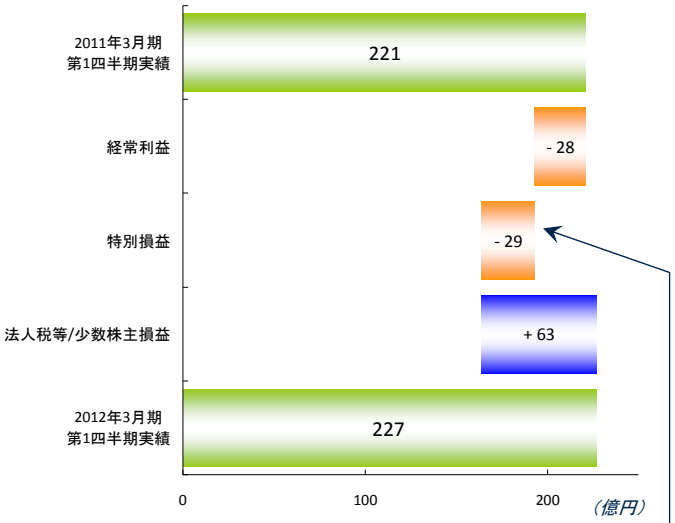
2012年3月期 第1四半期実績

◘ 経常利益



改善要因: 為替差損益の改善: 34億円
悪化要因: たばこ災害援助金の増: 13億円 等

◘ 四半期純利益



改善要因: 前年のカナダ行政法規違反過料計上: 132億円
悪化要因: 東日本大震災による損失: 97億円
事業構造強化費用の増(Hainburg工場閉鎖等): 86億円 等

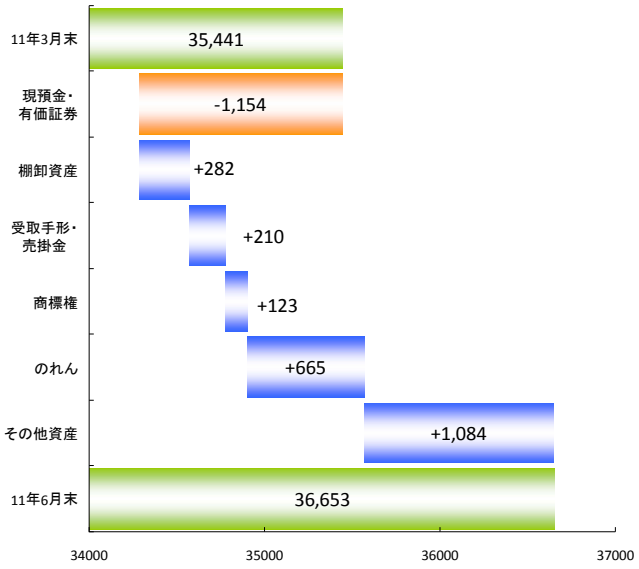
ひとの ときを、想う。 JT

(このスライドは空白です)

ひとの ときを、想う。 JT

2012年3月期 第1四半期 連結貸借対照表のポイント

□ 資産の部 2011年3月末・6月末比較



□流動資産：+45億円

【現預金・有価証券減少】:△1,154億円

- 法人税、配当金支払いによる減

【棚卸資産増加】＋282億円

- 国内たばこ事業および海外たばこ事業における棚卸資産の増

【受取手形・売掛金増加】＋210億円

- 海外たばこ事業における売上高の増、ドル/円の円安影響

【その他流動資産増加】＋706億円

- 海外たばこ事業前払たばこ税の増、ドル/円の円安影響、国内たばこ前渡金支払、等

□固定資産＋1,167億円

【商標権の増加】＋123億円

- 海外たばこ事業における為替影響

【のれんの増加】＋665億円

- 海外たばこ事業における為替影響

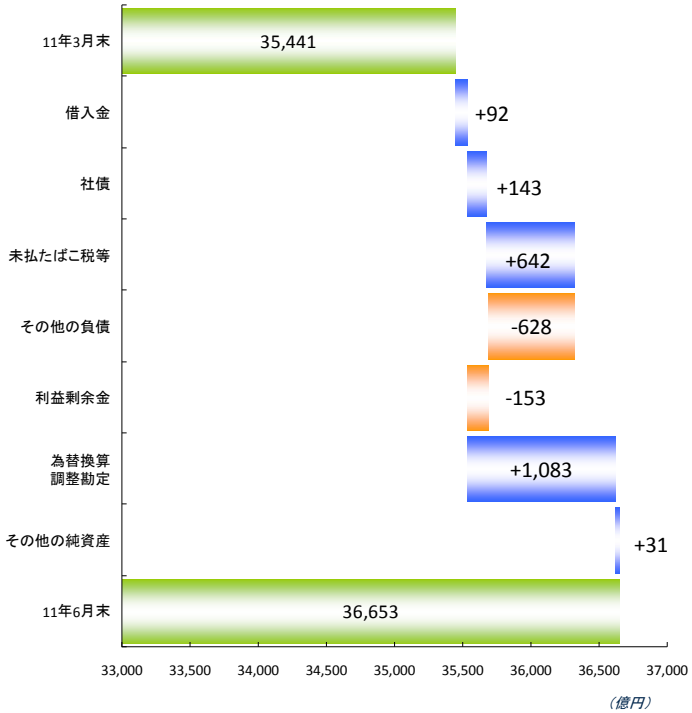
【有形固定資産の増加】＋119億円

- 海外たばこ事業におけるドル/円の円安影響

ひとの ときを、想う。 JT

2012年3月期 第1四半期 連結貸借対照表のポイント

□ 負債・純資産の部 2011年3月末・6月末比較



□負債合計：＋251億円

【借入金増加】＋92億円

【社債増加】＋143億円

【未払たばこ税増】＋642億円

- 海外たばこ事業における増加

□純資産合計：＋960億円

【利益剰余金の減少】△153億円

・配当金の支払い

【為替換算調整勘定】＋1,083億円

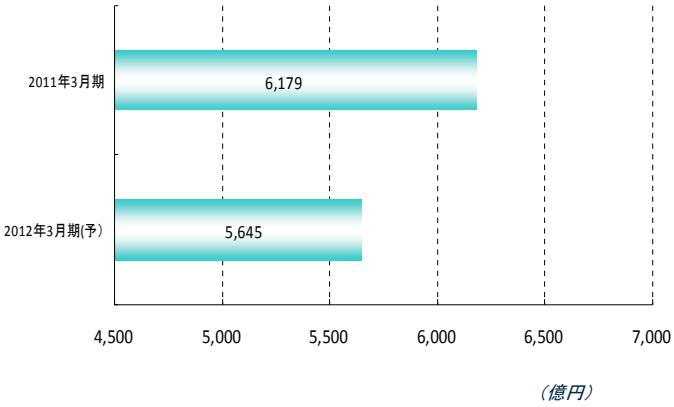
- 海外たばこ事業におけるのれんの期末残高の増（EUR/RUB/GBP高による改善）

ひとの ときを、想う。 JT

2012年3月期 業績予想_対前年度実績

□ 国内たばこ事業 調整後売上高[1)]/EBITDA

● 調整後売上高[1)]

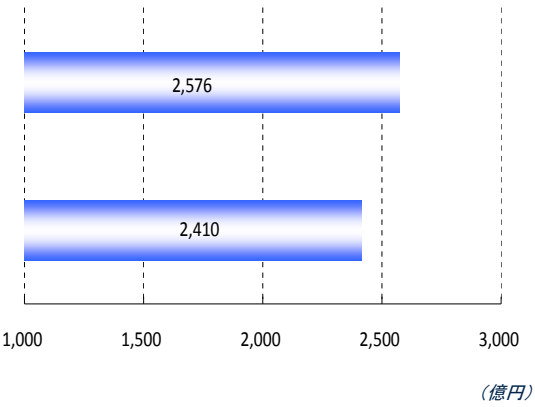


(億円)

【主な減少要因】
- ❑ 増税定改および震災影響による JT販売数量の減:
  1,346億本⇒1,020億本

【主な増加要因】
- ❑ 単価上昇効果

● EBITDA



(億円)

【主な減少要因】
- ❑ 増税定改および震災影響による JT販売数量の減
  1,346億本⇒1,020億本

【主な増加要因】
- ❑ 単価上昇効果

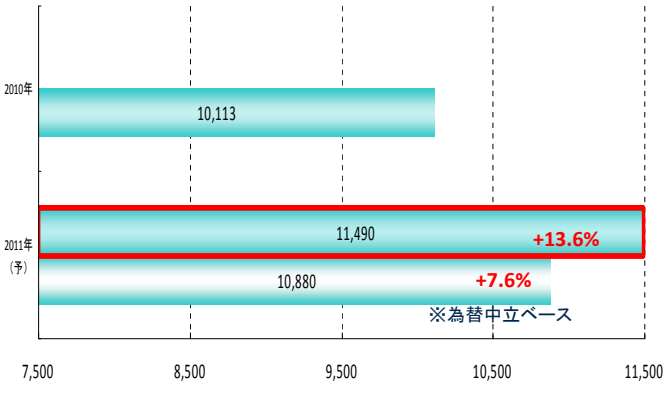
1)従前の調整後税抜売上高は調整後売上高に名称変更
輸入たばこ、国内免税、中国事業、その他を控除

ひとのときを、想う。JT

2011年3月期 業績予想_対前年度実績

□ 海外たばこ事業 調整後売上高[1)] ($ベース)/EBITDA[2)]($ベース)

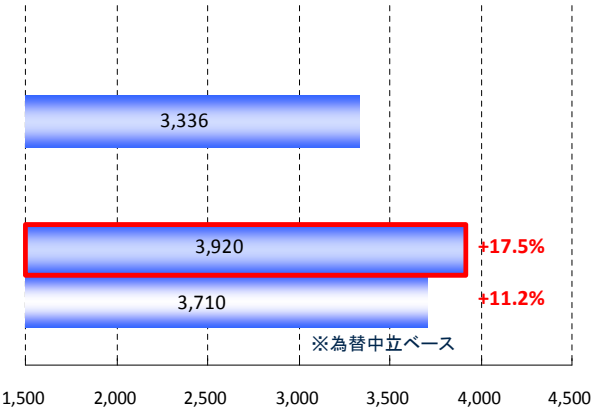
● 調整後売上高[1)2)]



(百万US$)

【主な増加要因】
- ❑ 単価/ミックス効果

● EBITDA[2)]



(百万US$)

【主な増加要因】
- ❑ 単価/ミックス効果

1)従前の調整後税抜売上高は調整後売上高に名称変更
物流事業、製造受託等を控除

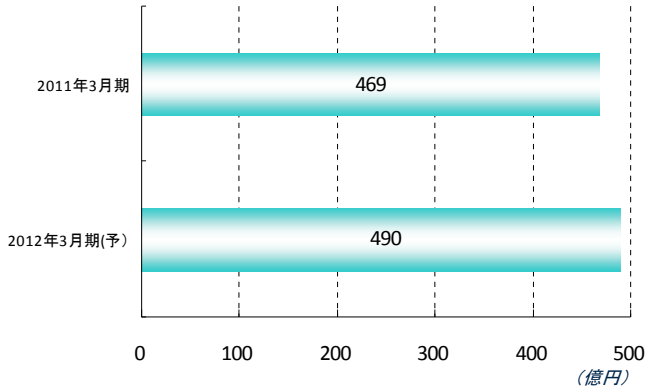
2) IFRSの採用に伴い、2011年3月末実績についても遡及修正を実施

ひとのときを、想う。JT

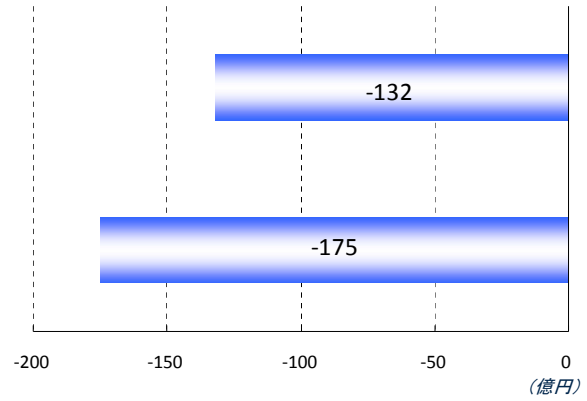
2012年3月期 業績予想_対前年度実績

◘ 医薬事業 売上高/EBITDA

● 売上高



● EBITDA



【主な増加要因】

- ❑ 鳥居薬品の売上高：453億円→488億円（+34億円）

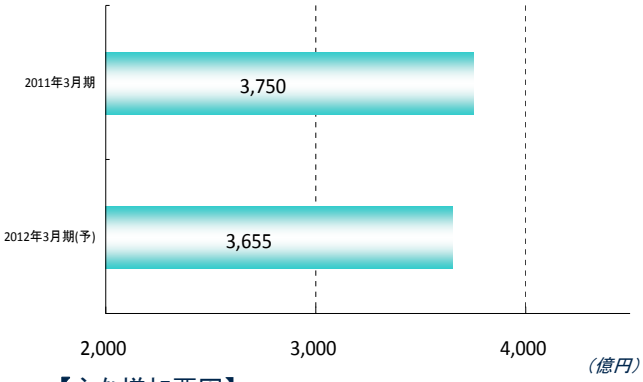
【主な減少要因】

- ❑ 研究開発費の増加
- ❑ 前年度の既導出品にかかる開発進捗に伴う一時金収入

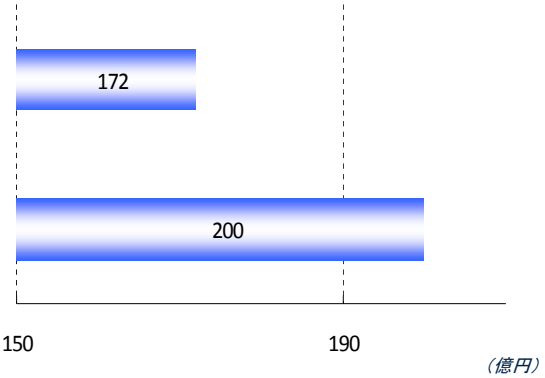
2012年3月期 業績予想_対前年度実績

◘ 食品事業 売上高/EBITDA

● 売上高



● EBITDA



【主な増加要因】

- ❑ 加工食品事業等における主力分野への戦力集中による成長

【主な減少要因】

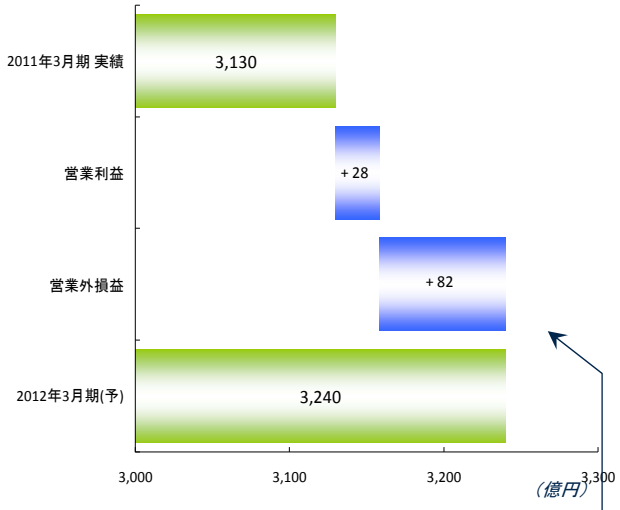
- ❑ 飲料事業における節電影響等による減収
- ❑ 加工食品事業等における前年度の精白米等の卸売事業廃止・一部子会社を連結対象外とした影響および当年度の一部事業所閉鎖影響

【主な増加要因】

- ❑ 基幹ブランド「ルーツ」の更なる強化、ステープル（主食）、調味料（酵母エキス等）への戦力集中およびコスト削減

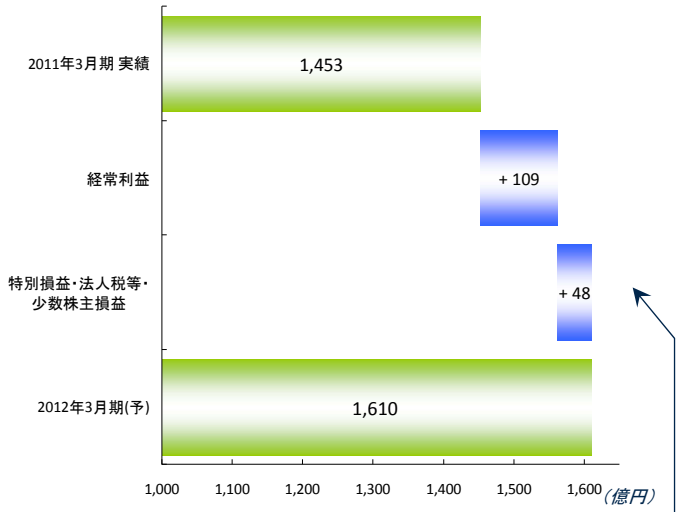
2012年3月期 業績予想_対前年度実績

◘ 経常利益



改善要因: 金融損益の改善等

◘ 当期純利益



改善要因: 前年のカナダ行政法規違反過料計上:128億円
悪化要因: 前年の投資有価証券売却益計上: 53億円
固定資産除売却損益の減少: 40億円程度

海外たばこ事業におけるIFRSの採用に伴い、2011年3月期実績についても遡及修正を実施

ひとのときを、想う。 JT

1.業績ハイライト

・日本の会計基準を採用しています。
・従前はたばこ税相当額については売上高および売上原価に含めていましたが、たばこ税相当額を控除する方法に変更いたしました。
・海外たばこ事業については、2011年3月期は米国会計基準を、2012年3月期はIFRSを採用した上で、日本基準へ必要なコンバージョンを行い開示しています。変更に関し、過年度遡及修正に係る会計基準に従い、2010年の実績について遡及修正した数値を新ベースとして掲載しています。

（単位：億円、%）

	10年6月期（旧）	10年6月期（新）	11年6月期（新）	増減（新）	増減率（新）
売上高	6,014	5,885	5,881	-3	- 0.1%
調整後売上高(注)	4,741	4,715	4,096	-619	- 13.1%
EBITDA	1,326	1,330	1,218	-112	- 8.4%
営業利益	791	795	719	-75	- 9.5%
経常利益	715	709	680	-28	- 4.1%
四半期純利益	228	221	227	+5	+2.4%

（注）：国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業等および海外たばこ事業における物流事業、製造受託等を控除

FCF	44	44	-606	-651	-

（参考：のれんの償却影響を除く主要利益）　（単位：億円、%）

営業利益	1,025	1,029	928	-101	- 9.8%
経常利益	950	943	889	-54	- 5.8%
四半期純利益	462	456	435	-20	- 4.5%

2.売上高の内訳

（単位：億円、%）

	10年6月期（旧）	10年6月期（新）	11年6月期（新）	増減（新）	増減率（新）
全社売上高(注1)	6,014	5,885	5,881	-3	- 0.1%
国内たばこ事業	2,423	2,423	2,633	+209	+8.6%
海外たばこ事業(注1)	2,461	2,332	2,169	-163	- 7.0%
調整後全社売上高(注1/注2/注3)	4,741	4,715	4,096	-619	- 13.1%
国内たばこ事業(注2)	1,461	1,461	1,003	-458	- 31.4%
海外たばこ事業(注1)(注3)	2,151	2,125	2,014	-111	- 5.2%
医薬事業	118	118	119	+1	+1.1%
食品事業	962	962	918	-43	- 4.5%
飲料事業	468	468	490	+21	+4.7%
加工食品事業等	493	493	427	-65	- 13.3%
その他の売上高	48	48	41	-7	- 15.2%

(注1): 海外たばこ事業は、1-3月期の実績

(注2): 国内たばこ事業の輸入たばこ事業、国内免税、中国事業等を除いた実績

(注3): 海外たばこ事業の物流事業、製造受託等を控除した実績

（参考）　（単位：百万ドル、%）

	10年3月期（旧）	10年3月期（新）	11年3月期（新）	増減（新）	増減率（新）
海外たばこ事業 調整後売上高(注1)(注3)	2,372	2,343	2,447	+104	+4.4%
海外たばこ事業　為替中立ベース 調整後売上高(注1)(注3)	2,372	2,343	2,495	+152	+6.5%

3.販売費及び一般管理費の内訳

（単位：億円、%）

	10年6月期（旧）	10年6月期（新）	11年6月期（新）	増減（新）	増減率（新）
販売費及び一般管理費	1,906	1,903	1,787	-115	- 6.1%
人件費(注)	574	572	546	-26	- 4.5%
広告宣伝費	43	43	32	-11	- 25.7%
販売促進費	298	298	242	-55	- 18.6%
研究開発費	123	122	129	+6	+5.5%
減価償却費	161	161	139	-21	- 13.4%
その他	705	705	696	-8	- 1.2%

（注）：人件費＝報酬・給料手当＋退職給付費用＋法定福利費＋従業員賞与＋賞与引当金繰入額

4.事業セグメント別EBITDA(注1)

（単位：億円、%）

	10年6月期（旧）	10年6月期（新）	11年6月期（新）	増減（新）	増減率（新）
全社EBITDA	1,326	1,330	1,218	-112	- 8.4%
営業利益	791	795	719	-75	- 9.5%
減価償却費(注2)	534	535	498	-36	- 6.9%
国内たばこ事業EBITDA	583	583	461	-121	- 20.9%
営業利益	472	472	365	-106	- 22.6%
減価償却費(注2)	111	111	96	-15	- 13.5%
海外たばこ事業EBITDA(注3)	728	742	743	+1	+0.2%
営業利益	391	404	430	+26	+6.5%
減価償却費(注2)	337	337	312	-25	- 7.4%
医薬事業EBITDA	-20	-20	-35	-14	-
営業利益	-30	-30	-44	-14	-
減価償却費(注2)	9	9	9	+0	- 5.4%
食品事業EBITDA	40	40	61	+20	+51.3%
営業利益	-23	-23	-7	+15	-
減価償却費(注2)	64	64	69	+5	+8.0%
その他/全社・消去EBITDA	-6	-15	-12	+2	-
営業利益	-18	-26	-23	+3	-
減価償却費(注2)	11	11	10	-1	- 9.4%

（参考）　（単位：百万ドル、%）

	10年3月期（旧）	10年3月期（新）	11年3月期（新）	増減（新）	増減率（新）
海外たばこ事業 EBITDA	804	818	903	+84	+10.3%
海外たばこ事業　為替中立ベース EBITDA	804	818	954	+136	+16.7%

（注1）：EBITDA＝営業利益＋減価償却費(注2)

（注2）：減価償却費＝有形固定資産、無形固定資産、長期前払費用及びのれんの償却費

（注3）：海外たばこ事業は、1-3月期の実績

5.主要投資案件の賠償却費

のれん償却費　（単位：百万ドル）

海外たばこ事業	10年3月期	11年3月期	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連	229	222	20年

（注）：旧RJRI、旧Gallaher、その他を含む
のれん償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

（単位：億円）

食品事業	10年6月期	11年6月期	償却年数
テーブルマーク（旧加ト吉）関連	22	22	5年

（注）：のれん償却終了は、'12年12月

商標権償却費　（単位：百万ドル）

海外たばこ事業	10年3月期	11年3月期	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連	61	62	主に20年

（注）：商標権償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

6.資本的支出

（単位：億円、%）

	10年6月期（旧）	10年6月期（新）	11年6月期（新）	増減（新）	増減率（新）
資本的支出	312	312	227	-84	-27.0%
国内たばこ事業	84	84	104	+19	+23.8%
海外たばこ事業(注)	146	146	72	-74	-50.5%
医薬事業	9	9	8	+0	-9.2%
食品事業	66	66	36	-30	-45.8%
その他/全社・消去	5	5	6	+1	+24.8%

（注）：海外たばこ事業は、1-3月期の実績

7.手元流動性(注)

（単位：億円）

	11年3月末	11年6月末	増減
手元流動性	2,765	1,781	-984

（注）：手元流動性＝現預金＋有価証券＋現先

8.有利子負債(注)

（単位：億円）

	11年3月末	11年6月末	増減
有利子負債	7,087	7,317	+230

（注）：有利子負債＝短期借入金＋社債＋長期借入金＋リース債務

9.主な事業関連計数

【国内たばこ事業】	10年6月期	11年6月期	増減	増減率	
JT販売数量(注)	359	184	-175	-48.8%	億本
国内総需要	557	451	-106	-19.1%	億本
JT販売数量シェア	64.5%	40.8%	-23.7%ppt		
JT千本当売上高	4,054	5,444	+1,391	+34.3%	円

（注）：JT販売数量には国内免税販売分及び中国事業部分を含まない。当該数量は、2010年6月期9億本、2011年6月期8億本。

【海外たばこ事業】	10年3月期	11年3月期	増減	増減率	
販売数量(注)	941	945	+4	+0.5%	億本
GFB販売数量	546	558	+12	+2.1%	億本
円/USドルレート	90.69	82.31	-8.38	10.2%円高	円
RUB/USドルレート	29.85	29.30	-0.55	1.9%RUB高	RUB
GBP/USドルレート	0.62	0.63	+0.01	1.5%GBP安	GBP
EUR/USドルレート	0.70	0.75	+0.04	6.0%EUR安	EUR
CHF/USドルレート	1.04	0.96	-0.08	8.4%CHF高	CHF
TWD/USドルレート	32.09	29.51	-2.58	8.7%TWD高	TWD

（注）：製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

【医薬事業】	10年6月期	11年6月期	増減	増減率	
研究開発費（単体）	55	56	+1	+0.0%	億円

【食品事業－飲料事業】	11年3月末	11年6月末	増減	
自動販売機台数(注)	265,000	266,000	+1,000	台
うちマーキング機	33,000	33,000	+0	台
うちコンビ機	83,000	84,000	+1,000	台

（注）：自動販売機台数には、関係会社が運営する他社機（缶・プリック等）及びカップ機を含む。「マーキング機」とは当社所有の自動販売機を指し、「コンビ機」とは関係会社所有で他社の製品も取り扱いながら、JT製品の露出を積極的に行う自動販売機を指す。
東日本大震災の被災により、被災エリアの2011年3月末の自動販売機台数は被災前の設置確認台数を集計。

2012年3月期連結業績予想(前期実績比較)

・日本の会計基準を採用しています。
・従前はたばこ税相当額については売上高および売上原価に含めていましたが、たばこ税相当額を控除する方法に変更いたしました。
・海外たばこ事業については、2011年3月期は米国会計基準を、2012年3月期はIFRSを採用した上で、日本基準へ必要なコンバージョンを行い開示しています(例:のれん償却)。米国会計基準からIFRSへの変更に関し、過年度遡及修正に係る会計基準に従い、2010年の実績について遡及修正した数値を新ベースとして掲載しています。

(単位:億円、%)

	11年3月期 実績(旧)	11年3月期 実績(新)	12年3月期 見込	増減	増減率
売上高(注1)	24,861	24,326	24,460	+134	+0.5%
調整後売上高(注)	19,566	19,469	19,150	-320	-1.6%
EBITDA	5,411	5,425	5,500	+74	+1.4%
営業利益	3,286	3,332	3,360	+28	+0.8%
経常利益	3,124	3,130	3,240	+109	+3.5%
当期純利益	1,449	1,453	1,610	+156	+10.8%
ROE(株主資本利益率)	9.2%	9.2%	10.4%	+1.2%pt	
フリーキャッシュフロー	2,997	2,997	3,000	+3	+0.1%
(参考:のれんの償却影響を除く)					
当期純利益	2,360	2,333	2,460	+126	+5.4%
EPS(円)	24,657.57	24,378.59	25,836.34	+1,457.75	+6.0%
1株当たり配当金(円)	6,800	6,800	8,000	+1,200	+17.6%
配当性向	27.6%	27.9%	31.0%	+3.1%pt	

事業セグメント別業績予想

(単位:億円、%)

	11年3月期 実績(旧)	11年3月期 実績(新)	12年3月期 見込	増減	増減率
売上高(注1)(注2)	24,861	24,326	24,460	+134	+0.5%
国内たばこ事業(注1)	10,278	10,278	10,230	-49	-0.5%
海外たばこ事業(注1)(注2)	10,170	9,635	9,930	+295	+3.1%
調整後売上高(注2)(注3)(注4)	19,566	19,469	19,150	-320	-1.6%
国内たばこ事業(注3)	6,179	6,179	5,645	-534	-8.6%
海外たばこ事業(注2)(注4)	8,974	8,877	9,190	+312	+3.5%
医薬事業	469	469	490	+20	+4.3%
食品事業	3,750	3,750	3,655	-95	-2.5%
その他の売上高	192	192	170	-22	-11.6%
EBITDA(注2)(注5)	5,411	5,425	5,500	+74	+1.4%
国内たばこ事業	2,576	2,576	2,410	-167	-6.5%
海外たばこ事業(注2)	2,881	2,930	3,130	+200	+6.8%
医薬事業	-132	-132	-175	-42	−
食品事業	172	172	200	+27	+15.8%
その他/全社・消去	-87	-121	-70	+51	-
営業利益(注2)	3,286	3,332	3,360	+28	+0.8%
国内たばこ事業	2,129	2,129	1,955	-174	-8.2%
海外たばこ事業(注2)	1,561	1,640	1,820	+180	+10.9%
医薬事業	-174	-174	-215	-40	−
食品事業	-94	-94	-80	+14	−
その他/全社・消去	-135	-168	-120	+49	−
減価償却費(注2)(注6)	2,124	2,093	2,140	+46	+2.2%
国内たばこ事業	447	447	455	+7	+1.6%
海外たばこ事業(注2)	1,320	1,289	1,310	+20	+1.6%
医薬事業	41	41	40	-1	-3.5%
食品事業	266	266	280	+13	+4.9%
その他/全社・消去	47	47	50	+2	+4.6%
資本的支出(注2)	1,460	1,460	1,330	-130	- 8.9%
国内たばこ事業	559	559	605	+45	+8.1%
海外たばこ事業(注2)	609	609	440	-169	- 27.8%
医薬事業	28	28	30	+1	+3.9%
食品事業	250	250	210	-40	- 16.0%
その他/全社・消去	12	12	45	+33	+265.3%

(参考)

(単位:百万ドル、%)

	2010年 実績 (旧)	2010年 実績 (新)	2011年 見込	増減	増減率
海外たばこ事業 調整後売上高(注2)(注4)	10,223	10,113	11,490	+1,377	+13.6%
為替中立ベース海外たばこ事業 調整後売上高(注2)(注4)(注7)	10,223	10,113	10,880	+767	+7.6%
海外たばこ事業EBITDA(注2)	3,282	3,336	3,920	+584	+17.5%
為替中立ベース 海外たばこ事業EBITDA(注2)(注7)	3,282	3,336	3,710	+374	+11.2%

(注1):たばこ税相当額を控除
(注2):海外たばこ事業の決算期は1-12月
(注3):国内たばこ事業の輸入たばこ、国内免税、中国等を控除
(注4):海外たばこ事業の物流事業、製造受託等を控除
(注5):EBITDA=営業利益+減価償却費(注5)
(注6):減価償却費=有形固定資産、無形固定資産(商標権含む)、長期前払費用及びのれんの償却費
(注7):2012年3月期の為替レートが2011年3月期と中立だった場合

業績予想の主な前提条件

(1)国内たばこ事業

(単位:億本、%)

	11年3月期	12年3月期	増減	増減率
販売数量	1,346	1,020	-326	-24.2%

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

(2)海外たばこ事業

	2010年	2011年	増減	増減率	
総販売数量※	4,284	4,280	-4.00	-0.1%	億本
GFB販売数量	2,498	2,570	+72.00	+2.9%	億本
円/USドルレート	87.79	80.00	-7.79	9.7%高	円
RUB/USドルレート	30.36	28.50	-1.86	6.5%高	RUB
GBP/USドルレート	0.65	0.61	-0.04	6.6%高	GBP
EUR/USドルレート	0.75	0.70	-0.05	7.1%高	EUR
CHF/USドルレート	1.05	0.90	-0.15	16.7%高	CHF
TWD/USドルレート	31.73	28.70	-3.03	10.6%高	TWD

※製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

主要投資案件ののれん償却費

海外たばこ事業

(単位:百万ドル)

	2010年	2011年	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連等	916	930	20年

(注):のれんの償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

食品事業

(単位:億円)

	11年3月期	12年3月期	償却年数
ﾃｰﾌﾞﾙﾏｰｸ関連	90	90	5年

(注):のれんの償却終了は、'12年12月

主要投資案件の商標権償却費

海外たばこ事業

(単位:百万ドル)

	2010年	2011年	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連等	242	250	主に20年

(注):商標権の償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

2012年3月期連結業績予想(前回ガイダンスとの比較)

・日本の会計基準を採用しています。
・従前はたばこ税相当額については売上高および売上原価に含めていましたが、たばこ税相当額を控除する方法に変更いたしました。
・海外たばこ事業については、2012年3月期はIFRSを採用した上で、日本基準へ必要なコンバージョンを行い開示しています(例:のれん償却)。

(単位:億円)

	前回見込	今回見込	増減
売上高(注1)	-	24,460	-
調整後売上高(注2)(注3)(注4)	19,250 ～ 19,700	19,150	-550 ～ -100
EBITDA	5,400 ～ 5,740	5,500	-240 ～ +100
営業利益	-	3,360	-
経常利益	-	3,240	-
当期純利益	-	1,610	-
ROE(株主資本利益率)	-	10.4%	-
フリーキャッシュフロー	-	3,000	-

(参考:のれんの償却影響を除く)

当期純利益	-	2,460	-
EPS(円)	-	25,836.34	-
1株当たり配当金(円)	8,000	8,000	0
配当性向	-	31.0%	-

事業セグメント別業績予想 (単位:億円)

	前回見込	今回見込	増減
売上高(注1)(注2)	–	24,460	
国内たばこ事業(注1)	–	10,230	
海外たばこ事業(注1)(注2)	–	9,930	
調整後売上高(注2)(注3)(注4)	19,250 ～ 19,700	19,150	-550 ～ -100
国内たばこ事業(注3)	5,520 ～ 5,980	5,645	-335 ～ +125
海外たばこ事業(注2)(注4)	9,370	9,190	-180
医薬事業	490	490	+0
食品事業	3,700	3,655	-45
その他の売上高	165	170	+5
EBITDA(注2)(注5)	5,400 ～ 5,740	5,500	-240 ～ +100
国内たばこ事業	2,270 ～ 2,610	2,410	-200 ～ +140
海外たばこ事業(注2)	3,180	3,130	-50
医薬事業	-165	-175	-10
食品事業	200	200	+0
その他/全社・消去	-105	-70	+35
営業利益(注2)	-	3,360	-
国内たばこ事業	-	1,955	-
海外たばこ事業(注2)	1,850	1,820	-30
医薬事業	-205	-215	-10
食品事業	-	-80	-
その他/全社・消去	-	-120	-
減価償却費(注2)(注6)	-	2,140	-
国内たばこ事業	-	455	-
海外たばこ事業(注2)	1,330	1,310	-20
医薬事業	40	40	+0
食品事業	-	280	-
その他/全社・消去	-	50	-

(単位:億円)

資本的支出(注2)	-	1,330	-
国内たばこ事業	-	605	-
海外たばこ事業(注2)	450	440	-10
医薬事業	30	30	+0
食品事業	-	210	-
その他/全社・消去	-	45	-

(参考) (単位:百万ドル)

	前回見込	今回見込	増減
海外たばこ事業 調整後売上高(注2)(注4)	11,430	11,490	+60
為替中立ベース海外たばこ事業 調整後売上高(注2)(注4)(注7)	10,820	10,880	+60
海外たばこ事業EBITDA(注2)	3,880	3,920	+40
為替中立ベース 海外たばこ事業EBITDA(注2)(注7)	3,670	3,710	+40

(注1):たばこ税相当額を控除
(注2):海外たばこ事業の決算期は1-12月
(注3):国内たばこ事業の輸入たばこ、国内免税、中国等を控除
(注4):海外たばこ事業の物流事業、製造受託等を控除
(注5):EBITDA=営業利益+減価償却費(注6)
(注6):減価償却費=有形固定資産、無形固定資産(商標権含む)、長期前払費用及びのれんの償却費
(注7):2012年3月期の為替レートが2011年3月期と中立だった場合

業績予想の主な前提条件

(1)国内たばこ事業 (単位:億本)

	前回見込	今回見込	増減
販売数量	1,000 ～ 1,080	1,020	-60 ～ +20

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

(2)海外たばこ事業

	前回見込	今回見込	増減	
総販売数量※	4,280	4,280	+0	億本
GFB販売数量	2,570	2,570	+0	億本
円/USドルレート	82.00	80.00	2.5%高	円
RUB/USドルレート	28.50	28.50	0%	RUB
GBP/USドルレート	0.61	0.61	0%	GBP
EUR/USドルレート	0.70	0.70	0%	EUR
CHF/USドルレート	0.90	0.90	0%	CHF
TWD/USドルレート	28.70	28.70	0%	TWD

※製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

主要投資案件ののれん償却費
海外たばこ事業 (単位:百万ドル)

	前回見込	今回見込	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連等	930	930	20年

(注):のれんの償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

食品事業 (単位:億円)

	前回見込	今回見込	償却年数
ﾃｰﾌﾞﾙﾏｰｸ関連	90	90	5年

(注):のれんの償却終了は、'12年12月

主要投資案件の商標権償却費
海外たばこ事業 (単位:百万ドル)

	前回見込	今回見込	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連等	250	250	主に20年

(注):商標権の償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

国内JT製品データ集

（注）: 表中の数値には中国、香港、マカオ市場および国内免税市場販売分は含まれておりません。

国内たばこ事業関連係数

1. 四半期別販売数量

（単位:億本）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	390	395	388	343	1,518
2010年度	359	506	203	277	1,346
2011年度	184				

2. 四半期別定価代金

（単位:億円）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	5,817	5,891	5,785	5,123	22,617
2010年度	5,354	7,531	4,133	5,669	22,689
2011年度	3,736				

（注）: 販売定価代金 ＝ 販売数量 × 小売定価

3. 四半期別千本当税抜売上高

（単位:円）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	4,056	4,055	4,057	4,058	4,056
2010年度	4,054	4,052	5,539	5,533	4,582
2011年度	5,444				

（注）: 本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。
千本当税抜売上高 ＝｛販売定価代金－販売店マージン－消費税－たばこ税（国税）
－たばこ税（地方税）－たばこ特別税（国税）｝／ 販売数量 ×1,000

4. 四半期別シェア

（単位:%）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	65.1	64.8	65.0	64.8	64.9
2010年度	64.5	65.1	62.7	62.6	64.1
2011年度	40.8				

伸張セグメントシェア

1. 四半期別タール1mgセグメントシェア

①JT タール1mg製品市場シェア （単位:%）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	14.9	14.8	15.2	15.6	15.1
2010年度	15.7	15.2	15.2	15.4	15.4
2011年度	9.8				

②1mg市場シェア （単位:%）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	23.9	23.8	24.1	24.5	24.1
2010年度	24.7	23.7	24.0	24.3	24.2
2011年度	24.7				

③セグメント内シェア （単位:%）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	62.3	62.2	63.0	63.8	62.8
2010年度	63.6	64.1	63.3	63.5	63.7
2011年度	39.6				

2. 四半期別メンソールセグメントシェア

①JT メンソール製品市場シェア （単位:%）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	7.6	7.9	8.0	8.5	8.0
2010年度	8.4	8.0	8.7	8.4	8.3
2011年度	3.2				

②メンソール市場シェア （単位:%）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	22.6	23.2	23.0	23.5	23.1
2010年度	23.9	23.3	25.7	25.3	24.3
2011年度	26.1				

③セグメント内シェア （単位:%）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	33.8	34.2	34.7	36.2	34.7
2010年度	35.2	34.1	33.8	33.3	34.2
2011年度	12.4				

3. 四半期別440円以上製品セグメントシェア

①JT 440円以上製品市場シェア （単位:%）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	5.1	5.0	5.2	5.2	5.1
2010年度	5.1	4.7	17.4	16.7	9.3
2011年度	8.1				

②440円以上市場シェア （単位:%）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	23.9	23.8	24.1	24.8	24.6
2010年度	24.7	24.4	38.3	37.4	29.4
2011年度	37.6				

③セグメント内シェア （単位:%）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	21.3	21.0	21.4	21.1	20.7
2010年度	20.7	19.5	45.5	44.7	29.1
2011年度	21.5				

（注）: 2010年10月以前は320円以上

4. 四半期別D-spec製品シェア

（単位:%）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	4.76	4.66	5.25	5.31	5.21
2010年度	10.91	10.47	10.44	11.02	10.70
2011年度	5.41				

＊ キャスターは2010年4月よりD-spec製品として販売しております。

医薬事業　臨床開発品目一覧（2011年7月28日現在）

開発名	開発段階	主な適応症	作用機序	詳細	権利
JTT-705 （経口）	国内：Phase2	脂質異常症	CETP（コレステリルエステル転送蛋白）モジュレート	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL(低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール)に転送するCETP活性を調節することにより、血中HDLを増加させる	スイスのロシュ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出 （同社ではPhase3）
JTT-130 （経口）	国内：Phase2 海外：Phase2	脂質異常症	MTP（ミクロソームトリグリセリド転送蛋白）阻害	MTPを阻害することにより、コレステロール及びトリグリセリドの吸収を抑制し、脂質値を低下させる	
JTK-303 （経口）	国内：Phase1	HIV感染症	インテグラーゼ阻害	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	米国ギリアド・サイエンシズ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出 （同社ではPhase3）
JTT-302 （経口）	海外：Phase2	脂質異常症	CETP（コレステリルエステル転送蛋白）阻害	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL(低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール)に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる	
JTT-305 （経口）	国内：Phase2	骨粗鬆症	CaSR（カルシウム感知受容体）拮抗	副甲状腺細胞のCaSRに作用し、血中Caの感知を阻害することで副甲状腺ホルモンの分泌を促し、骨の代謝回転を高めることにより骨形成を促進する	米国メルク社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出
JTK-656 （経口）	海外：Phase1	HIV感染症	インテグラーゼ阻害	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	
JTT-751 （経口）	国内：Phase3	高リン血症	リン吸着剤	消化管内で食物から遊離するリンを吸着することで、リンの体内吸収を抑える	米国ケリックス・バイオファーマシューティカルズ社より日本における開発・商業化権を導入 （鳥居薬品と共同開発）
JTK-853 （経口）	海外：Phase1	C型肝炎	HCV RNA ポリメラーゼ阻害	HCVの増殖に関わる酵素であるポリメラーゼを阻害する	
JTT-851 （経口）	国内：Phase1	2型糖尿病	GPR40（G蛋白質共役型受容体）作動	グルコース依存的にインスリン分泌を促進し，高血糖を是正する	

*開発段階の表記は投薬開始を基準とする

前回（2011年5月12日）公表時からの変更点：JTS-653の開発中止